

## 仮称“鹿児島県の第四紀“アニメ等制作準備委員会・第2回 兼環境部会

### 1. これまでの経過

#### ※鹿児島大学総合研究博物館長 大木公彦教授第1回打合せ

: 8月24日 17:00~18:15 鹿児島大学総合研究博物館

内容：準備委員会の審議内容→一通りのイベントに対してまとめを行い、3段階程度で仕上げていく中で、参考文献、資料等の紹介、監修、アドバイスを大木先生に仰ぐ。

制作していく地質年代ステージの考え方は、一つ前の間氷期 12.5 万年前であると、鹿児島はほとんど身近な天変地異のイベントが含まれるので、一区切りとして進めるとよい。(海進、海退のピークがくる)

歴史、文化、民俗学等幅広く扱うとわかりやすくなる。例えば、桜島は有史以来大噴火、桜島の高さ、琉球人松の貝化石等

注意点：文献等資料の引用は著作権の関係もあるので慎重に

無料配布？有償かを検討しておく。PPT の場合 CD ですむが、違法コピーが増える。

コラム：縄文時代と弥生時代、大陸棚、薩摩火山灰、シラスとは、クラスティックダイク、断層 etc.

### 2. 2回の議題

#### 1) 12.5 万年前までの記述（序論的なもの）

ア、地球、日本列島の生い立ち（概略アニメ化）→中央構造線→鹿児島県内の状況鹿児島地溝→鹿児島湾、離島形成→海水面の上下（概略アニメ化）

イ、具体例示：火山、地形、化石（獅子島等）、メラングェ、花崗岩の貫入、枕状溶岩、永野層（珪藻土）、貝化石層等

#### 2) 12.5 万年以降の鹿児島県内の主な天変地異（本論）の編集

ア、（加久藤カルデラ）、阿多カルデラ、始良カルデラ、鬼界カルデラの生い立ち

イ、霧島、桜島、開聞岳、マールの生い立ち

ウ、各地域の主な記載→鹿児島市、南薩、北薩、始良・伊佐、大隅等の状況→

#### 3) コラム

ア、歴史、文化、民俗学等幅広く扱うとわかりやすくなる。例えば、桜島は有史以来大噴火回数、桜島の高さの変遷、琉球人松の貝化石等

イ、縄文時代と弥生時代、大陸棚、薩摩火山灰、シラスとは、クラスティックダイク、断層

#### 4) 講演

大木教授に 12 月 23 日（木）の講演会依頼。→当会の記念講演を兼ねる。詳細後日打合せ

\*地学のガイド、茶の間の地球科学等を参考文献として取材候補地を決定する。

### 3. 平成 22 年 11 月 7 日（日）2 回の会議で決まったこと

11 月 7 日に環境部会と合同での会議を開催し、今後の活動として、ある程度の期間をかけて、鹿児島県の地質の特徴的な現場の取材・撮影をしていくことを決めた。

参考となる現場は、添付の「鹿児島県地学のガイド」のもくじに沿ったものとする。方法としては、委員でフィールドを手分けして分担する。11 月 7 日の分担として以下の方が担当する希望があったが、当日参加していない会員、まだ会員でない方などの協力をお願いしていく。正確さや安全の観点からできれば複数で分担が望ましいので、希望者はフィールドを申し出て、参加をお願いしていく。

#### 11 月 7 日の担当案

南薩・・・・・・・・上野

鹿児島周辺・・・・大川畑

北薩・・・・・・・・浦島

始良・・・・・・・・前田、稲田

大隅半島・・・・田ノ上

桜島、霧島、指宿・開聞→未定

離島・・・・・・・・離島は出張時に取材・分担する。

編集会議でそのスチール写真を検討後、鹿大大木教授に監修してどのような位置づけなのか学習し、それをまとめながらパワーポイントでまとめていく。